

五 白山の雪解け水のせせらぎ



「霊峰白山。冷たく透き通る雪解け水が、初夏の訪れを告げます。」

かいせつ

白い雪におおわれた白山は、その神々しい姿から御神体山として崇められ、人々の信仰の対象となってきました。富士山、立山とともに日本三名山と称されています。白山山系の雪解け水は、手取川・庄川・九頭竜川などの河川の源流となっています。石川県で最大の河川「手取川」は、御前峰山頂あたりの雪渓から流れ出る水を最初の1滴とします。雪解け水を集め、山の奥深くをとうとうと流れる渓流は、清らかな水音を発し、厳しい季節を耐えてきた木々や草花や、カモシカをはじめとする多くの生きものたちの命の水となります。また、この水は巨大な手取川ダムを満たし、人々の生活を支えます。中流部の手取峡谷をへて、穀倉地帯である手取川扇状地を潤し、長い旅を終えて日本海へと流れ着きます。

